

緩衝ネット付飛行場
使用者手引き
(第3版)

福島ロボットテストフィールド
令和 6 年 1 月 23 日

改訂履歴

| 版 | 施行日 | 内容 | 作成 |
|---|---------------|--------------------------------|------------------|
| 1 | 令和 3年 4月 1日 | 新規作成 | 技術課 副主任 菊地 康仙 |
| 2 | 令和 5年 12月 27日 | 新規フォーマットへの改訂 ネット昇降操作の見直しの反映 | 技術課 課長 宮本信太郎 |
| 3 | 令和 6年 1月 23日 | ネット運用に関する事項と風速表示 の情報追加 | 技術課 課長 宮本信太郎 |
| | | | |

目 次

| | | |
|------|---------------------------|---|
| 1 | 施設概要 | 1 |
| 1.1. | 基本情報 | 1 |
| 1.2. | 設置位置 | 3 |
| 1.3. | 写真 | 3 |
| 1.4. | 使用事例 | 4 |
| 2. | 施設・設備詳細 | 5 |
| 2.1. | 建設図面 | 5 |
| 2.2. | 付属機器と操作手順 | 6 |
| (1) | ネット集中制御盤（緩衝ネット昇降操作） | 6 |
| (2) | 照明設備 | 7 |
| 3 | 利用上の注意 | 9 |

1 施設概要

1.1. 基本情報

基本情報

| | |
|------------------|--|
| 名称 | 緩衝ネット付飛行場 |
| エリア | 無人航空機エリア（南相馬） |
| メーカー名 | - |
| メーカー型番 | - |
| 導入年 | 2019年 |
| 仕様 | |
| 主要諸元 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 150m×80m×H20m（有効高さ15m） ・ ネット：高強度・高耐候ポリオレフィン（φ2.4×120mm目） ・ 芝：ロングパイル人工芝 ・ 無人航空機落下受止試験装置の設置インターフェースあり ・ 出入口 幅4.0m×高さ3.5m：2か所 幅14m×高さ6.0m：1か所 |
| 飛行可能エリア | ・ 150m×80m×15m（屋内扱い） |
| 施設に含まれる設備、機器 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外水道×1か所 ・ 照明設備 ・ コンセント盤×6か所 ・ HUB収納盤×4か所 |
| 保存データの形式・アウトプット | - |
| 事前に用意いただく必要のあるもの | - |
| 使用に必要な免許・資格 | - |
| 利用上の注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 平均風速が10m/s以上の場合、ネットを上げることが出来ないため、風が収まるまでご使用を待っていただく場合があります ・ 最大瞬間風速が15m/s以上の場合、RTF職員がネットを下げるので、ご使用の途中でただちに使用を一時中止しネット付き飛行場内の機材を撤収すること ・ 使用を開始した後に風速基準を超え緩衝ネット付飛行場の使用が中止となった場合でも、当該使用単位分の使用料の返還はしません ・ 飛行場内への車両進入は禁止 |

基本情報（続き）

| | |
|------------|---------------------------------------|
| 貸出単位 | 全面、半面、1/3 |
| 貸出可能な数 | 1 |
| 使用料金 | |
| 1時間につき(昼間) | - |
| 1月につき | - |
| 全日 | - |
| 午前・午後 | (全面利用) ¥55,600 |
| | (半面利用) ¥29,100 |
| | (1/3利用) ¥20,200 |
| 1時間につき(夜間) | - |
| 夜間 | (全面利用) ¥66,700 |
| | (半面利用) ¥34,900 |
| | (1/3利用) ¥24,200 |
| 超過(1時間につき) | (全面利用) ¥18,100 |
| | (半面利用) ¥9,500 |
| | (1/3利用) ¥6,600 |
| 問合せ先 | 福島ロボットテストフィールド 技術課 TEL0244-25-2476 |

備考

(1) 使用単位の「午前」、「午後」、「夜間」、「全日」、「超過時間」は次のとおりです。

- ◎午前：9時～13時
- ◎午後：13時～17時
- ◎夜間：17時～21時
- ◎全日：0時～24時
- ◎超過時間：0時～9時まで及び21時～24時までの間の1時間

(2) 次のいずれかに該当する場合には、使用料と同額を加算します。

- ① 営利の目的で入場料、受講料、会費等を徴収して行事を開催するとき
- ② 商品販売、商業宣伝等の営利的性格を有する行為のために使用するとき

(3) 準備のために使用する場合には、使用料を70%に減額します。

「準備」とは、「参加者を一般から募るイベントのための準備」を指します。

(4) 日をまたいで2日以上継続使用する際、展示物や器材等の保管のためであれば、夜間～早朝の使用料は徴収しません。

(5) 施設に含まれる設備、機器において(★)マークのついたものは、使用時に別途費用が発生します。詳細は対応する使用者手引きを参照ください。

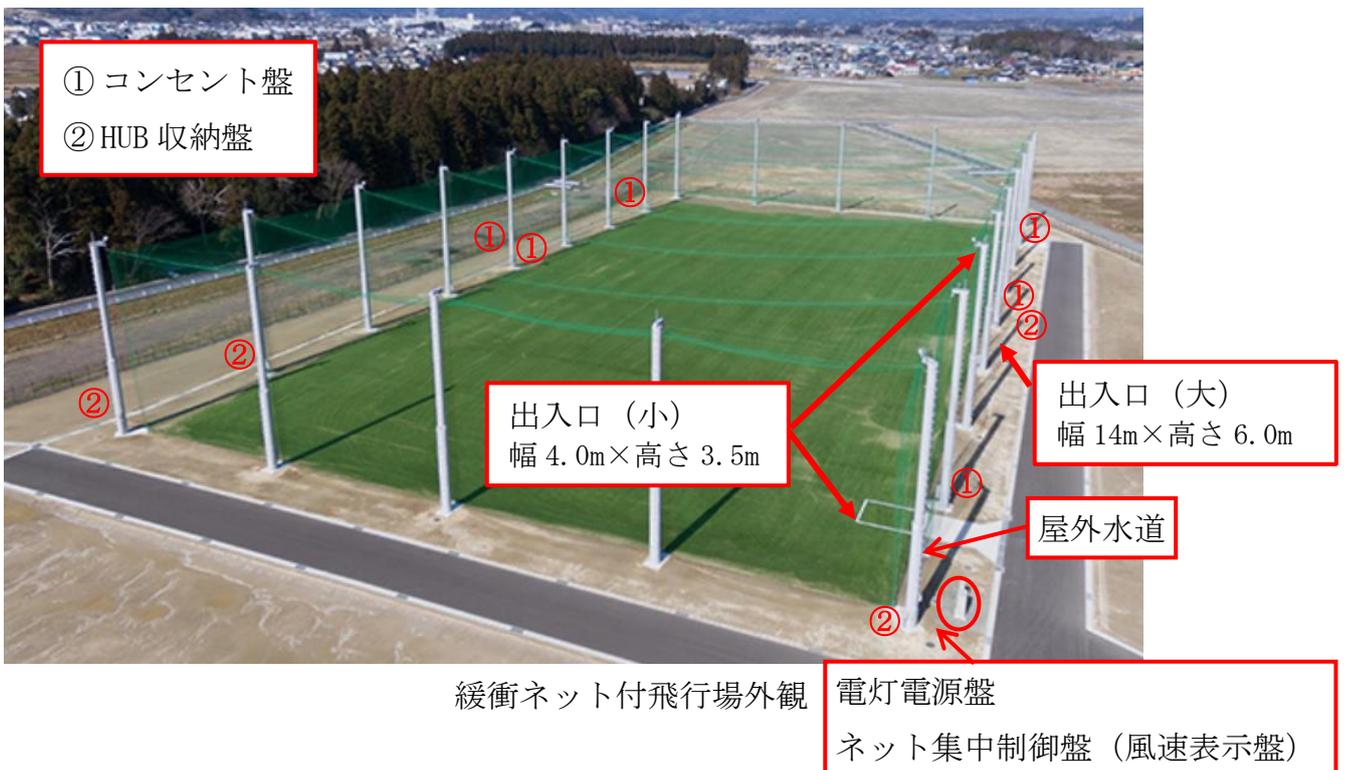
1.2. 設置位置

無人航空機エリア



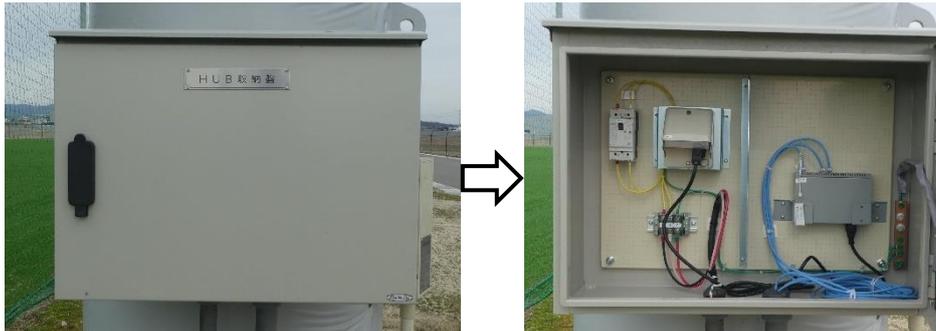
緩衝ネット付飛行場設置位置

1.3. 写真

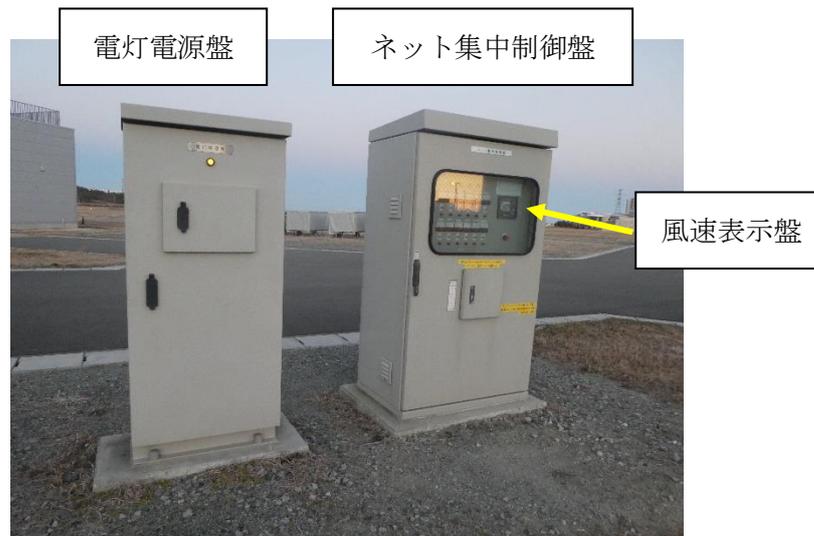




① コンセント盤



② HUB 収納盤



灯電源盤およびネット集中制御盤（風速表示盤）

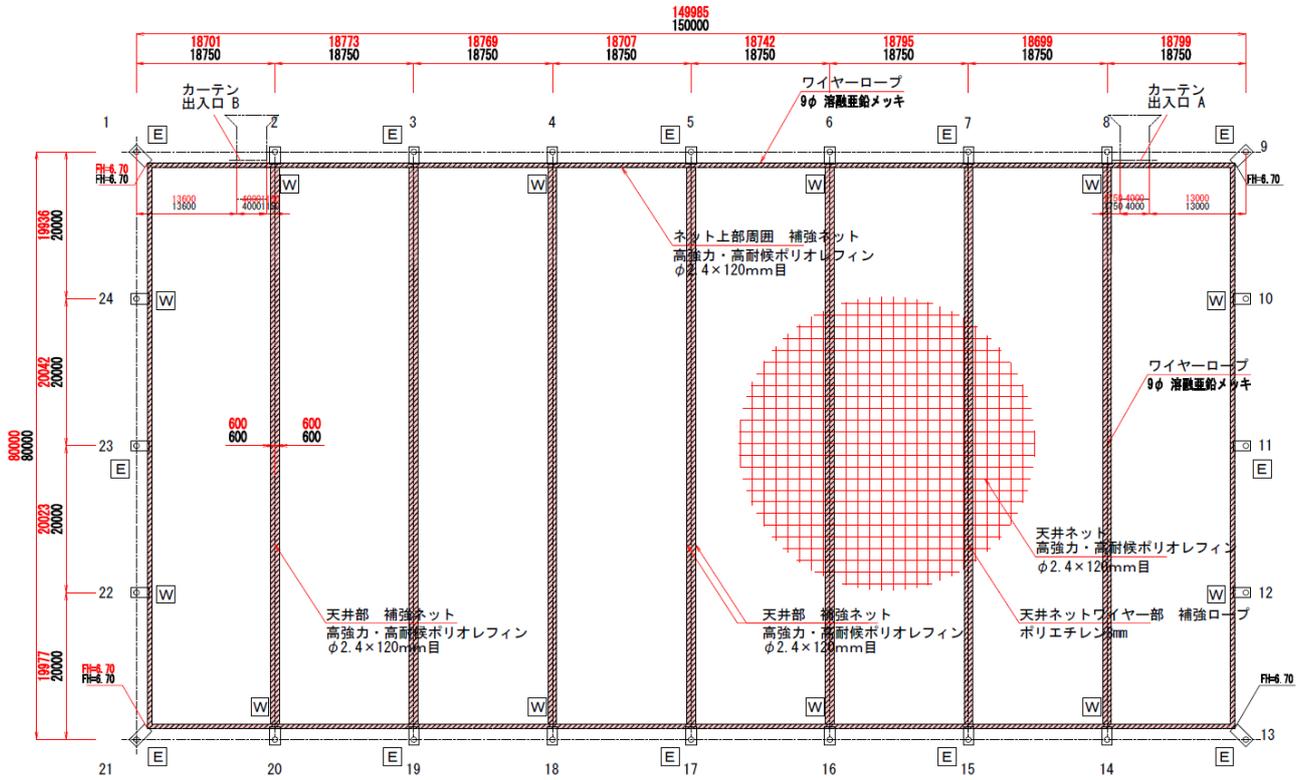
1.4. 使用事例

- (1) 水素ドローンの飛行試験
- (2) 農薬散布ドローンの散布試験

2. 施設・設備詳細

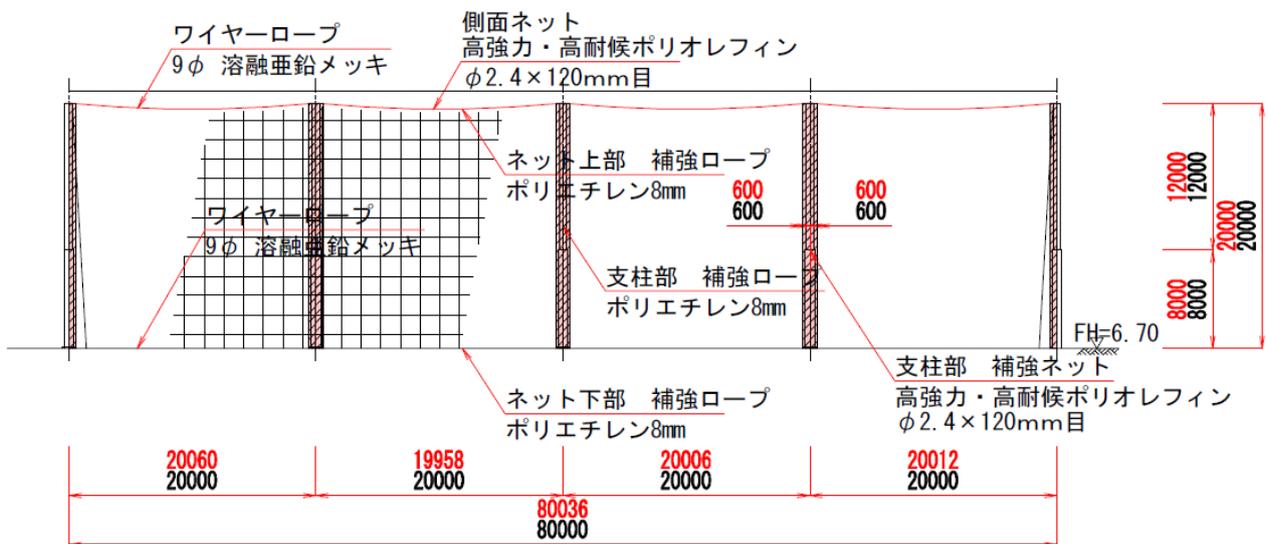
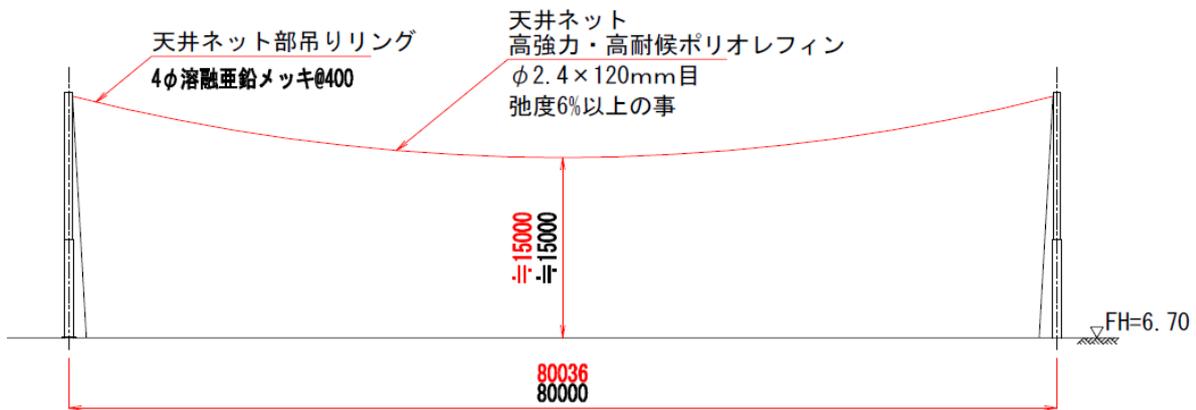
2.1. 建設図面

ア 平面図



※赤字は、実測値

イ 断面図



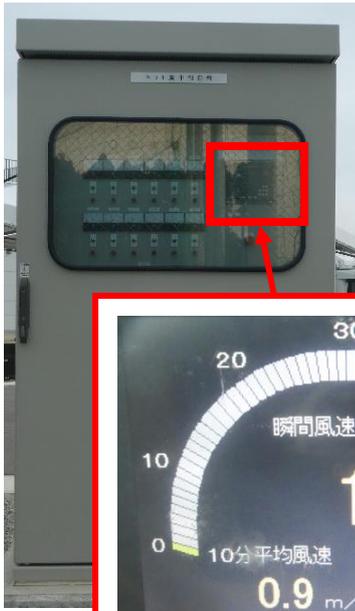
※赤字は、実測値

2.2. 付属機器と操作手順

(1) ネット集中制御盤（緩衝ネット昇降操作）

緩衝ネット昇降操作自体は RTF 職員が操作する。（使用者は操作しないこと。）

ネット集中制御盤にて緩衝ネット付飛行場の柱の上（高さ 20m 位置）に設置した風速計の風速が確認できる。



「瞬間風速」：

3 秒間 (0.25 秒間隔の計測値×12 個) の平均値

「10 分平均風速」：

10 分間における瞬間風速の平均値

「最大瞬間風速」：

10 分間における瞬間風速の最大値

ネット集中制御盤の風速表示

(2) 照明設備

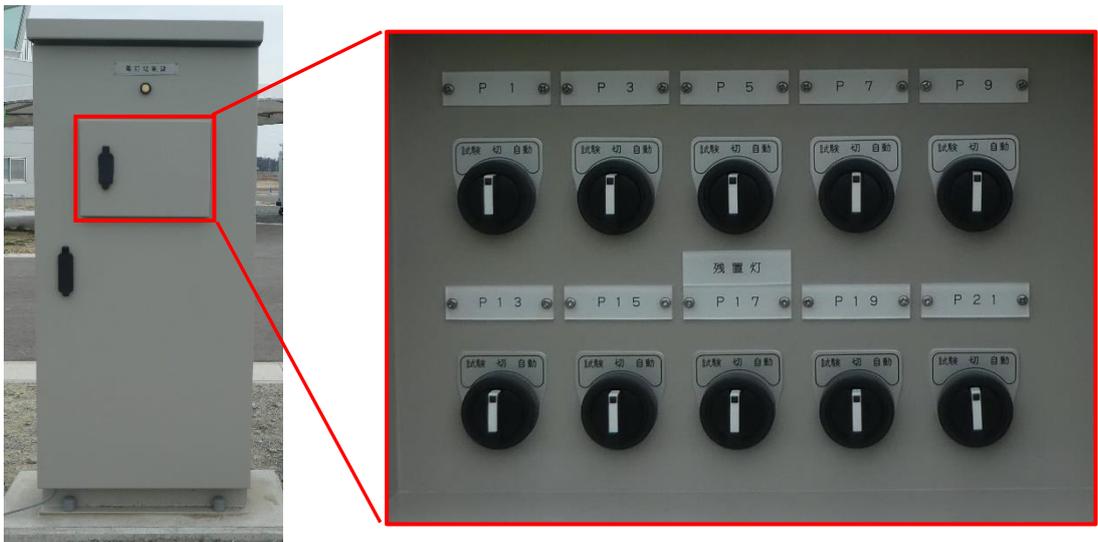
ア 操作

(ア) 点 灯

電灯電源盤の「試験一切自動」スイッチを試験の位置にすると、スイッチに対応した照明が点灯する。

(イ) 消 灯

電灯電源盤の「試験一切自動」スイッチを切の位置にすると、スイッチに対応した照明が消灯する。



電灯制御盤



照明点灯時

イ 注意事項

- (ア) 電灯制御盤の蓋は、操作時以外は閉じること。
- (イ) 使用中に異常を感じた場合は、「試験一切ー自動」スイッチを切の位置にするとともに福島ロボットテストフィールド職員へ通知すること。

3 利用上の注意

- (1) 関係法令等及び福島ロボットテストフィールド共通使用規約を遵守すること。
- (2) 施設使用時はヘルメットを常時装着すること。
- (3) 緩衝ネットの昇降作業は RTF 職員が操作するので、使用者は操作しないこと。
- (4) 平均風速が 10m/s 以上の場合、ネットを上げることが出来ないため、風が収まるまでご使用を待っていただく場合があります。
- (5) 最大瞬間風速が 15m/s 以上の場合、人員及び施設の安全確保のため RTF 職員がネットを下げるので、ご使用の途中でもただちに使用を一時中止しネット付飛行場内の機材を撤収すること。
 - ・使用前に、風速計の風速表示について説明しますので適宜確認ください。
 - ・ご使用時間途中で強風でネットを下げる可能性がある場合には、代表者の携帯電話等に職員から連絡をさせていただきます。
 - ・強風が予想される場合には、すぐに撤収できるように不必要に機材を出さない、入り口付近に展開する等の対応にご協力をお願いします。
- (6) 使用を開始した後に風速基準を超え緩衝ネット付飛行場の使用が中止となった場合、当該使用単位分の使用料の返還はしません。
- (7) 緩衝ネット付飛行場内で飛行させる場合は、出入り口のネットを閉めて使用すること。
- (8) 緩衝ネット付飛行場内への車両の進入は、出入り口から白線のラインまでとし、それより中への進入はしないこと。
- (9) 故障などを発見した場合はただちに技術課（0244-25-2476）まで連絡すること。

以上